

東海市地域公共交通網形成計画の推進について

1

基本方針	1：いろいろな交通機関がなかよくつながる公共交通づくり
目 標	1：地域の骨格を形成する公共交通の構築
施 策	1：公共交通ネットワークの充実
実施事業	2：路線バス・らんらんバスのサービス向上へ向けた再構築

(平成29年度)安全運行・定時運行の確保に向けた調査等

●事業の背景と内容

平成27年5月2日にらんらんバスのダイヤ及びルート改定を行い、平成28年8月27日より75歳以上の市民を対象とした、高齢者循環バス利用促進事業を実施した。ダイヤ改定及び事業の実施により、バス利用者は急激に伸びている。

利用者の増加は乗降時間が増加を招いており、一部ダイヤに遅延が生じている。また、混雑時には立って乗車している高齢者も多く、車内事故等に繋がる可能性も高い。

高齢者循環バス利用促進事業を実施して1年が経つ今年度に、循環バスの運行調査を実施し、運行状況把握を行っていくもの。

●実施時期等（予定）

- | | | |
|---|----------|-----------------|
| 1 | 平成29年6月 | 東海市地域公共交通会議にて協議 |
| 2 | 〃 6月下旬～ | 順次、定時運行調査実施 |
| 3 | 平成29年10月 | 東海市地域公共交通会議にて報告 |

●参考

循環バスの利用状況等について	資料3
東海市循環バスOD調査結果【抜粋】（平成28年12月実施）	資料8-1
循環バス定時運行調査結果【抜粋】（平成29年1月実施）	資料8-2
平成29年度循環バス定時運行調査実施計画（案）	資料8-3
東海市循環バス時刻表	別添

2

基本方針	1：みんなで使って、みんなで支える公共交通づくり
目 標	2：だれもが利用しやすい公共交通利用環境の構築
施 策	2：既存駅・バス停の利便性向上
実施事業	2：上屋・ベンチ等の設置

(平成29年度) 上屋・ベンチ等の設置に向けた調査・検討

●事業内容

75歳以上の市民を対象とした循環バス運賃無料化に伴い、バス停の利用状況に変化が生じているため、平成28年度OD調査の結果を基に確認する。また、利用頻度が多いバス停に上屋・ベンチ等が設置可能であるか確認する。なお、設置可能なバス停については、優先順位を設定する。

●実施時期

平成30年度実施予定（実施可能箇所：1箇所）

●実施方法

平成28年度に実施した、らんらんバスのOD調査結果を基に利用頻度を確認し、利用頻度が高いバス停について道路等が設置基準を満たしているのか確認した結果、候補地が市所有の土地に設置可能な上野中学校前となった。

他の利用頻度が高いバス停については、設置場所が公道上や民有地となり、優先順位を設定しても、設置が可能か不透明なため除外したものである。

●その他

平成30年度実施に向けて、予算要求を行う

3

基本方針	2：みんなで使って、みんなで支える公共交通づくり
目 標	5：環境や健康に配慮して、かしこく公共交通を使う
施 策	10：モビリティ・マネジメントの実施
実施事業	1：地域、学校、職場を対象にしたモビリティ・マネジメントの実施

(平成29年度)「循環バスの乗り方教室」の実施

●事業内容

マイカー社会の進展に伴い、バスの乗車経験がなく、乗り降りの仕方を知らない児童が増えている。そこで、公共交通であるバスに親しみ、バスへの理解と関心を高めるとともに、将来的な利用者へつなげるためとするもの。

●実施時期

平成29年7月 大田小学校で実施予定
(以降、学校と調整し次第実施予定)

●実施方法等

バスの乗り方教室について 資料8-4

●その他

学年によっては、出発地と目的地を決め、実際のダイヤを使ってルートを考える授業も実施を検討していく。

基本方針	2	: みんなで使って、みんなで支える公共交通づくり
目 標	6	: 地域で支える公共交通
施 策	1 2	: 地域での公共交通施設管理の推進
実施事業	2	: バスやバス停等への広告制度の導入

(平成29年度) らんらんバス車内への企業広告導入

●事業内容

3ルート6系統で運行しているらんらんバスの車内の広告掲載欄を利用した企業広告の掲載を行なう。

●実施時期

平成29年度中に実施予定

●実施方法

広告料を受領し、運行負担金を軽減する。

●その他

東海市広告掲載審査会にて車内の掲載の可否については了承済。また、車両所有者（知多乗合株）とも事前協議で車内

※広告掲載審査会は、広告制度にふさわしいかを審査する。

事前準備として、広告条例の制定や説明会の実施を検討する。